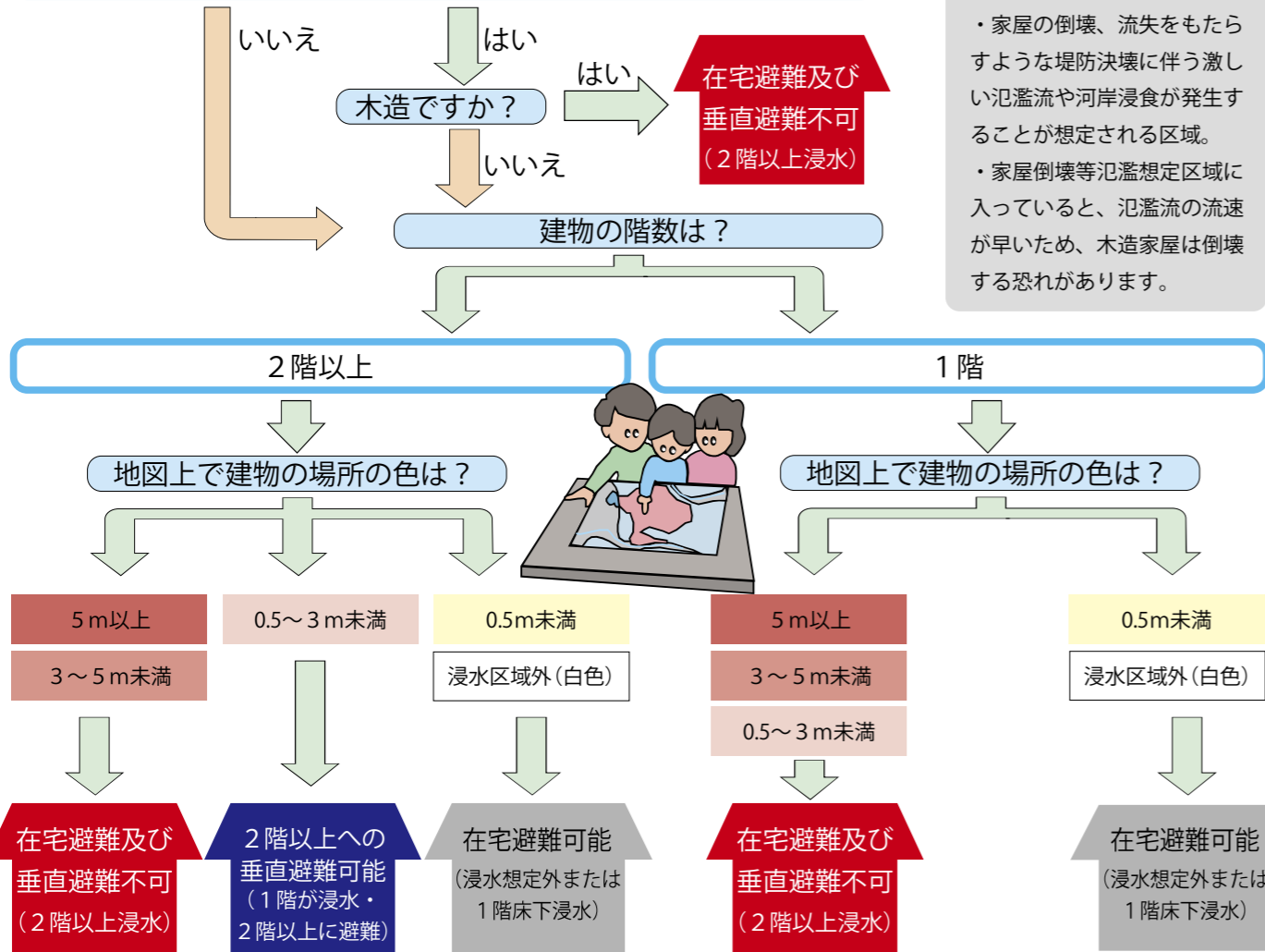


避難方法判定フロー

ご自宅の建物が家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていますか？



家屋倒壊等氾濫想定区域とは
 ・家屋の倒壊、流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸浸食が発生することが想定される区域。
 ・家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていると、氾濫流の流速が早いので、木造家屋は倒壊する恐れがあります。

在宅避難及び垂直避難不可 (2階以上浸水)

▼2階以上の浸水が想定され、自宅での避難はできません。
 ▼早い段階で、町外の親戚や友人宅などの浸水しない区域へ広域避難をしましょう。

2階以上への垂直避難可能 (1階が浸水・2階以上に避難)

▼1階床上浸水が想定されますが、2階以上であれば自宅での避難ができます。
 ▼町内の大部分で浸水が長時間継続します。まずは町外の親戚や友人宅など浸水しない区域へ広域避難することを考えましょう。

在宅避難可能 (浸水想定外または1階床下浸水)

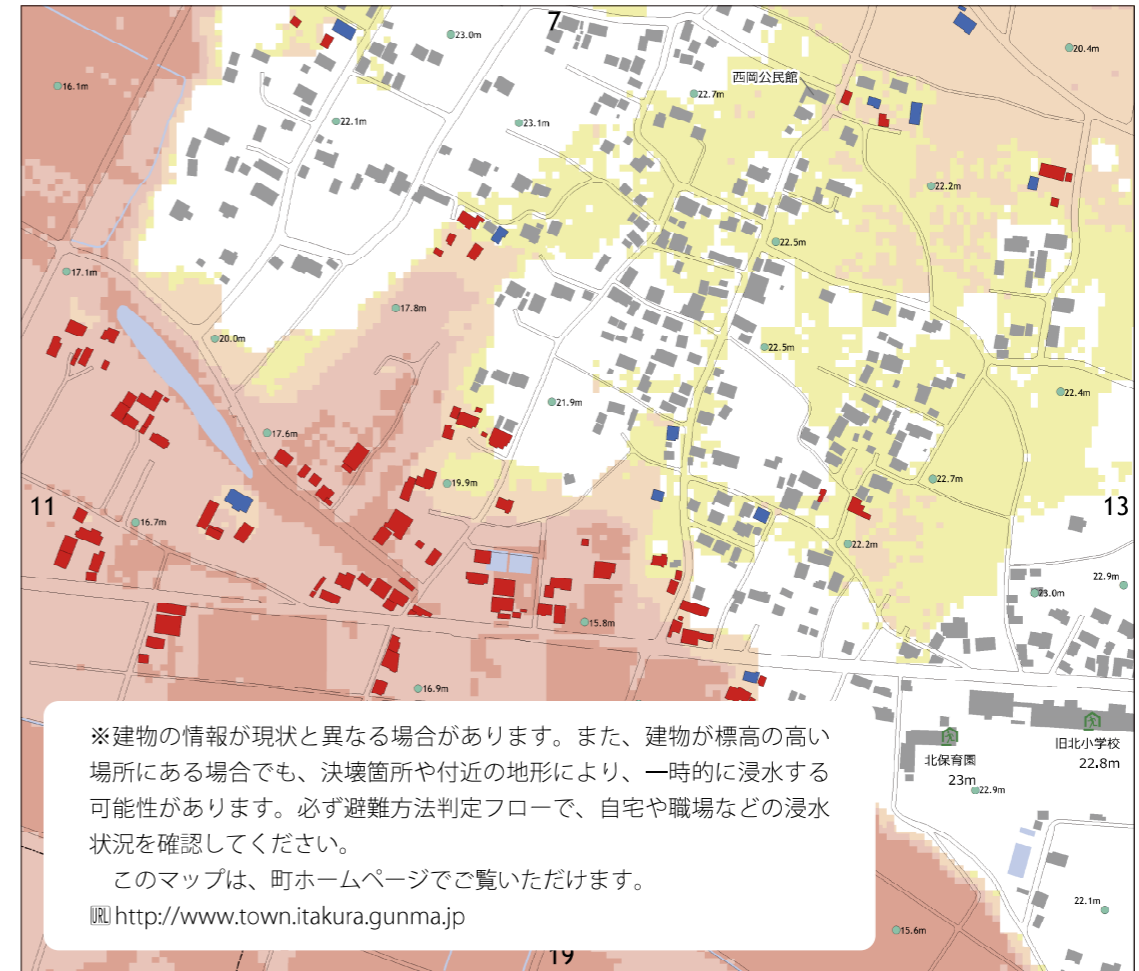
▼浸水区域外または1階床下浸水の想定であり、自宅での避難ができます。
 ▼町指定の洪水時緊急避難場所での収容人数は限られています。自宅での避難、さらに町内の親戚や友人などの避難先(受入れ側)となることも考えましょう。
 ▼町内の大部分で浸水が長時間継続します。水や食料などを十分に備蓄しておきましょう。

台風シーズンに備えよう!

詳細版ハザードマップで避難確認

近年、全国的に台風や豪雨などによる風水害が多発しています。災害に対しては、日頃の備えが重要です。町では風水害に備え、町民の皆さんが避難行動を考える際の指標となる「詳細版ハザードマップ」を作成しました。ご自宅がどのような状況にあるかを確認し、家族の安全を確保してください。

問合せ 安全安心係 ☎82-6123



板倉町詳細版ハザードマップ <個別図12>

この地区は、想定最大規模降雨(1000年に一度)に伴う洪水により各河川が氾濫した場合の浸水が想定される区域や想定される浸水深を示しています(想定浸水水位21.3m)。

建物の色と避難方法の目安

- 在宅避難及び垂直避難不可 (2階以上が浸水)
- 2階以上への垂直避難可能 (1階床上浸水)
- 在宅避難可能 (浸水区域外または1階床下浸水)

想定浸水深の目安

- 5m以上: 2階の天井以上までつかる程度
- 3~5m未満: 1階の天井から2階の天井までつかる程度
- 0.5~3m未満: 1階の床から1階の天井までつかる程度
- 0.5m未満: 1階の床下までつかる程度

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 家屋の倒壊、流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流が発生することが想定される区域。

洪水時緊急避難場所(屋内)
 洪水時緊急避難場所(屋外)
 洪水時緊急福祉避難場所
 標高
 行政界

命を守るため、早めに避難行動をとりましょう!

※建物の情報が現状と異なる場合があります。また、建物が標高の高い場所にある場合でも、決壊箇所や付近の地形により、一時的に浸水する可能性があります。必ず避難方法判定フローで、自宅や職場などの浸水状況を確認してください。
 このマップは、町ホームページでご覧いただけます。
<http://www.town.itakura.gunma.jp>

第10回板倉町避難訓練

日時 8月29日(日) 午前7時(避難伝達開始) 雨天決行

- 午前7時から、防災ラジオにより「高齢者等避難」「避難指示」の情報伝達を順次行います。伝達を受けたら、避難行動を開始してください。
 - 実際の災害を想定し、備蓄品を携行した避難行動をお願いします。
 - 適度な水分補給など、体調管理を行って参加してください。
- ※避難場所など、詳しくは後日行政区を通じてチラシを配布します。



年に1度は防災ラジオの電池交換をしましょう



国が想定する1,000年に一度の大雨では、町土の約9割が浸水するとされています。また、避難所においては新型コロナウイルス感染症対策により、収容可能人数が限られています。

このハザードマップを確認して、浸水の恐れのない町外の親戚、知人宅や宿泊施設などの避難先を確保することを最優先とし、併せて自宅での避難の可否など、自らの避難行動を検討してください。

町では防災ラジオにより、避難情報を早めに伝達します。避難情報に従って、早めに避難してください。

※詳細版ハザードマップは、行政区を通じて配布します。

ハザードマップを確認してください